

日時・場所	平成30年8月20日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、瀬川議会事務局長、竹中政策調整部長、小山総務部長、田中市民部長、高橋健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、三上都市建設部長、服部環境経済次長（代理出席）、吉川教育部長、川端会計管理者、吉田政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課）

## 1. 市長指示事項

- ・ 昨日、避難所開設・運営研修を開催し、自主防災リーダーをはじめ、消防、警察、消防団、高校生、職員等多く参加をいただいた。避難所は場所だけの問題ではなく、避難所での生活のあり方や秩序の保ち方等が非常に重要になってきている。これらを具体的に知ってもらい研修してもらうことが大切である。まだ十分でないのが、いつ避難するのか、避難の仕方、避難の情報伝達の仕方等である。また、今の制度では地区全体が避難することとなっているため、避難者数が数千人、数万人というあり得ない数字となるが、地区の中には安全なところもある。具体的に地域のどこの人に避難してもらう必要があるのか、精度を高めてもらいたい。
- ・ 予算編成の作業が間もなく始まる。予算編成というと事業をやるように思えるが、そうではなく、やはりニーズを押さえ、制度化し、事業をする、そのために予算をつけるという感覚でやってもらいたい。企画部門以外のところは、企画は他所にあったり国が決めたりし、決まったことを予算化して執行しているという意識では大間違いである。どこにでも企画的機能は存在し、むしろ現場での企画の方が重要である。予算検討の時期であり、改めて意識を持って取り組んでももらいたい。

## 2. 報告事項

## ① 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

[所管:教育委員会]

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果が出たので報告する。小中ともに3教科の調査を行い、ほぼ滋賀県の平均値であった。しかし、全国と比較すると良いとは言えない。学習状況では、小中ともに放課後にテレビやDVD、ゲーム、インターネットをして過ごす割合が高く、読書をしない割合が高い。学力調査で基本的問題はできるが、応用問題や文章で答える問題に弱い傾向が出ており、読書量と関係があると考え。授業を講義形式からアクティブラーニングに変える取組みや、家庭での学習を増やしていく必要があると考えている。

→平均を取っているため、それより上や下が出てくるのは当たり前で、結果に一喜一憂する必要はない。しかし、そのためには別の実績や評価基準が必要となり、それがないとこの指標に押し切られてしまう。別の評価指標を持つ心構えで取り組んでももらいたい。

→本を読んだ方が学力向上に有利ではあるが、義務にしても苦痛なだけで、読書の楽しさを感じられるようにしないといけない。興味や自発性を伸ばすような取組みとしてほしい。

→明日の全協で報告すること。

## 3. 協議事項

なし

## 4. その他伝達事項

- ・ 8月19日に避難所開設・運営研修の1回目を行い、125人に参加いただいた。地域の自主防災リーダーや関係機関・団体、県立学校、野洲高校、龍谷大学等からも参加いただき、熱心に研修いただいた。（市民部）
- ・ 8月18日にJR野洲駅の線路上で男性一人の人身事故があった。0時13分に覚知、搬送先の病院で死亡が確認された。（市民部）
- ・ 道路ふれあい月間であり、野洲市でも主要幹線道路で清掃活動を行う。既に協力依頼を出している通り、8月22日の15時半から17時まで行うので、各部に協力をお願いします。（都市建設部）
- ・ 8月17日10時35分頃、比江地先、市道中主比江線の雨水横断管入替工事において事故が起きた。作業がひと段落し交通誘導員も給水のタイミングで不在である時に、自転車で通行した方が穴に転落し顎を7針縫われ全治1ヶ月の怪我を負われた。今後現場では休憩時も含めた安全管理の指導を徹底する。（都市建設部）
- ・ 8月11日にさくら墓園の参拝者からセアカゴケグモの目撃報告があり、施設管理受託者であるシルバー人材センターにより駆除を行った。8月13日に園内の確認を行ったところ、1匹発見し駆除を行った。13日から15日にかけて側溝蓋を開け確認したところ、約300匹の成虫や卵を発見したため、駆除を行い、利用者や周辺住民には注意喚起を行った。（環境経済部）

## 5. 次回部長会議の予定

8月27日（月） 8時45分～ 庁議室